

35 ヨルダン

アカバ火力発電所増設事業(Ⅰ)(Ⅱ)



本事業により増設されたアカバ火力発電所

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	15,558百万円 / 15,306百万円
借 款 契 約 調 印	1994年8月 / 1996年4月
借 款 契 約 条 件	金利2.7% / 3.0%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1999年10月 / 2001年6月

[事 業 概 要]

ヨルダン国内の増加する電力需要に対応するため、既設アカバ火力発電所の設備を増設し、併せて既設送電線の送電能力の増強を図ることで電力の安定供給を行うもの。

[評 価 結 果]

本事業により、既設アカバ火力発電所内に、3号機、4号機発電所(各130MW)が増設され、送電線昇圧工事(132kV→400kV)がなされた。

2基の総発電量は、2001年で1,495GWh/年、2002年で1,527GWh/年であり、計画値の1,594GWh/年を若干下回ったものの、年々増加するヨルダンの電力需要への対応、安定した電力供給の観点から十分な効果が発現している。また、送電線能力増強により、近隣国との電力供給の相互支援体制が確立されたことも、ヨルダン国内の安定した電力供給に貢献している。その他、本事業はアカバ周辺の観光や肥料工場など地域振興に貢献していると言える。

アカバ地域一帯の珊瑚礁含む海洋環境への適切な対処を含め、実施機関CEGCOの運営・維持管理体制、人材・技術、財務状況等に特段の問題は見られない。なお、国家政策によりCEGCOの民営化が計画されている。